【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成20年9月11日(2008.9.11)

【公開番号】特開2006-60801(P2006-60801A)
【公開日】平成18年3月2日(2006.3.2)
【年通号数】公開・登録公報2006-009
【出願番号】特願2005-217367(P2005-217367)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　7/173　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/765　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　7/26　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　7/173　６１０Ｚ
Ｈ０４Ｎ　5/91　Ｌ
Ｈ０４Ｎ　7/173　６４０Ａ
Ｈ０４Ｎ　7/13　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成20年7月28日(2008.7.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ビデオ視聴サービスをユーザに提供するためのコンピュータ実施方法であって、
複数のカメラを使用して同じイベントの様々な画像ストリームを様々なビューから同時に取り込むプロセス動作と、
前記取り込まれた画像の特定ストリームをクライアントが対話式に要求するプロセス動作と、
前記取り込まれた画像の前記要求された特定ストリームをサーバから前記クライアントに提供するプロセス動作と
前記提供された、要求されたストリームを使用して、前記クライアントが特殊の効果のスクリプトを作成するプロセス動作と
を備えることを特徴とするコンピュータ実施方法。
【請求項２】
取り込まれた画像の前記特定ストリームはリアルタイムで提供されることを特徴とする請求項１に記載のコンピュータ実施方法。
【請求項３】
前記クライアントは少なくとも１つのカメラの視点をリアルタイムで制御することができることを特徴とする請求項２に記載のコンピュータ実施方法。
【請求項４】
前記クライアントは少なくとも１つのカメラのパンチルト値を制御することができることを特徴とする請求項３に記載のコンピュータ実施方法。
【請求項５】
前記取り込まれたビデオストリームは後で視聴するために記憶されることを特徴とする請求項１に記載のコンピュータ実施方法。
【請求項６】

前記クライアントは、前記ビデオストリームが正しいテンポで継続している間に、所望の視点を提供する様々なカメラからの前記ビデオストリームにアクセスすることによって、あるカメラ視点からの前記取り込まれたビデオストリームの視聴から、別のビデオ視点からの別の前記取り込まれたビデオストリームの視聴に切り換えることができることを特徴とする請求項１に記載のコンピュータ実施方法。

【請求項７】

前記クライアントは、前記ビデオストリームが正しいテンポで継続している間に、所望の視点を提供する隣接カメラからの前記ビデオストリームにアクセスすることによって、隣接カメラ視点からの前記取り込まれたビデオストリームの視聴にスイープすることができることを特徴とする請求項１に記載のコンピュータ実施方法。

【請求項８】

時が静止し、前記カメラ視点が所与の点の周りで回転することを特徴とする請求項１に記載のコンピュータ実施方法。

【請求項９】

前記クライアントは前に視聴または作成されたビデオシーケンスを再生することができることを特徴とする請求項１に記載のコンピュータ実施方法。

【請求項１０】

前記クライアントは前記スクリプトを他のクライアントに送信することができ、前記他のクライアントは、前記スクリプトが起動されると、スクリプトされたのと同じビデオイベントを見ることができることを特徴とする請求項１に記載のコンピュータ実施方法。

【請求項１１】

サーバが、前記取り込まれたビデオからビデオストリームを生成し、前記クライアントの要求に基づいて前記ビデオストリームを前記クライアントに送信することを特徴とする請求項１に記載のコンピュータ実施方法。

【請求項１２】

１つのクライアントに対して２つの通信チャネルがあることを特徴とする請求項１１に記載のコンピュータ実施方法。

【請求項１３】

一方の通信チャネルは、レイテンシを低減するためにオーディオ／ビデオデータの送信に使用されることを特徴とする請求項１２に記載のコンピュータ実施方法。

【請求項１４】

前記通信チャネルはユーザデータグラムプロトコル（ＵＤＰ）チャネルであることを特徴とする請求項１３に記載のコンピュータ実施方法。

【請求項１５】

一方の通信チャネルはコマンドおよび制御データの送信に使用されることを特徴とする請求項１２に記載のコンピュータ実施方法。

【請求項１６】

前記通信チャネルは伝送制御プロトコル（ＴＣＰ）チャネルであることを特徴とする請求項１５に記載のコンピュータ実施方法。

【請求項１７】

クライアントがビデオを見るためのコンピュータ実施方法であって、

複数のカメラを使用して同じイベント空間の様々な画像ストリームを様々な視点から同時に取り込むプロセス動作と、

前記取り込まれた様々な画像ストリームのうちユーザから要求されたストリームを、クライアントのコンピュータで受信するプロセス動作と、

前記提供された、要求されたストリームを使用して、前記クライアントが特殊の効果のスクリプトを作成するプロセス動作であって、前記特殊の効果は、

あるカメラ視点と別のカメラ視点との間で切り換える切換え効果と、

時が進んでいる間、隣接したカメラを介して前記カメラ視点がスイープするスイープ効果と、

時が静止している間、時が静止し、前記カメラ視点が所与の点の周りで回転する静止および回転効果と
のグループから選択される、プロセス動作と、
前記スクリプトが起動されると、前記クライアントが、前記スクリプトのスクリプトされたイベントを見ることができる他のクライアントに特殊の効果の前記スクリプトを送信するプロセス動作と
を備えることを特徴とするコンピュータ実施方法。
【請求項１８】
前記取り込まれた様々な画像ストリームのうちユーザから要求されたストリームは、前記画像が取り込まれているときにリアルタイムで前記コンピュータに提供されることを特徴とする請求項１７に記載のコンピュータ実施方法。
【請求項１９】
取り込まれた様々な画像ストリームは記憶媒体に記憶され、前記取り込まれた様々な画像ストリームのうちユーザから要求されたストリームは、前記記憶媒体から前記コンピュータに提供されることを特徴とする請求項１７に記載のコンピュータ実施方法。
【請求項２０】
前記取り込まれた様々な画像ストリームはサーバに記憶されることを特徴とする請求項１９に記載のコンピュータ実施方法。
【請求項２１】
前記取り込まれた様々な画像ストリームは前記クライアントのコンピュータに記憶されることを特徴とする請求項２０に記載のコンピュータ実施方法。
【請求項２２】
前記クライアントは、前記様々な画像ストリームが取り込まれる際の視点を制御することができることを特徴とする請求項１７に記載のコンピュータ実施方法。
【請求項２３】
ユーザが見るためのビデオを提供するためのシステムであって、
汎用コンピューティングデバイスと、
前記汎用コンピューティングデバイスによって実行可能なプログラムモジュールを含むコンピュータプログラムとを備え、
前記コンピューティングデバイスは、前記コンピュータプログラムの前記プログラムモジュールにより、
複数のカメラによって様々な視点から同時に取り込まれた同じイベントの複数のビデオストリームを入力するステップと、
前記入力された複数のビデオストリームのうちユーザから要求されたストリームを、クライアント位置にいるユーザによって見られるようにサーバから前記クライアントに提供するステップと、
前記提供された、ユーザから要求されたストリームを使用して、前記クライアントが特殊の効果のスクリプトを作成するステップであって、前記特殊の効果は、
あるカメラ視点と別のカメラ視点との間で切り換える切換え効果と、
時が進んでいる間、隣接したカメラを介して前記カメラ視点がスイープするスイープ効果と、
時が静止し、前記カメラ視点が所与の点の周りで回転する静止および回転効果と
のグループから選択される、ステップと
を行うように命令される
ことを特徴とするシステム。
【請求項２４】
前記複数のビデオストリームのうちユーザから要求されたストリームは、リアルタイムで前記クライアントに提供されることを特徴とする請求項２３に記載のシステム。
【請求項２５】
前記ビデオストリームが正しいテンポで継続する間に、あるカメラ視点から取り込まれ

たビデオストリームから、別のカメラ視点から取り込まれた少なくとも１つのビデオストリームに切り換わるビデオストリームが、前記ユーザに送信されることを特徴とする請求項２３に記載のシステム。

【請求項２６】

前記ビデオストリームが正しいテンポで継続する間に、隣接カメラ視点からのビデオストリームが前記ユーザに送信されることを特徴とする請求項２３に記載のシステム。

【請求項２７】

時が静止し、所与の点の周りで回転するカメラ視点からのビデオストリームが前記ユーザに送信されることを特徴とする請求項２３に記載のシステム。